

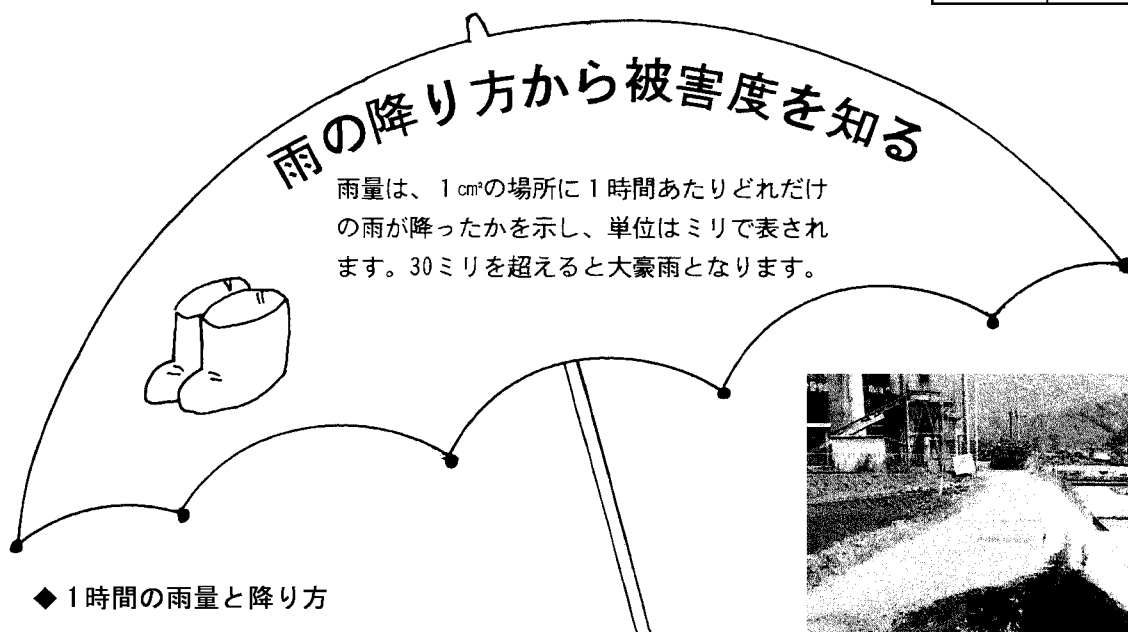
# 気象の知識

台風による被害は、ほとんどその台風の規模によって決まります。気象情報で中心気圧や最大風速を知り、万全の対策を立てておきましょう。



◆風の強さと被害の程度

10 m / s	かさが壊れる。
15 m / s	取り付けの悪いトタン塀などが壊れる。
20 m / s	子供は歩けなくなる。大人もからだを傾けてやっと歩けるような状態。
25 m / s	屋根瓦は飛び、テレビのアンテナが倒れる。
30 m / s	木製の雨戸がはずれ、古くなった家屋は倒れる。
35 m / s	小石が飛び散り、列車も倒れてしまう。
40 m / s	木造家屋の多くが倒れ、木も根こそぎ倒れる。



1時間の雨量	雨の降り方
5～10ミリ	雨音がよく聞こえ、すぐに水たまりができる。
10～20ミリ	雨音で話し声がよく聞こえないほど、地面一面に水たまりができる。
20～30ミリ	土砂降りで、がけくずれの危険がある。
30ミリ以上	危険地帯では、避難体制に入らなければならない。

